

電波時計 取扱説明書

(液晶表示付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

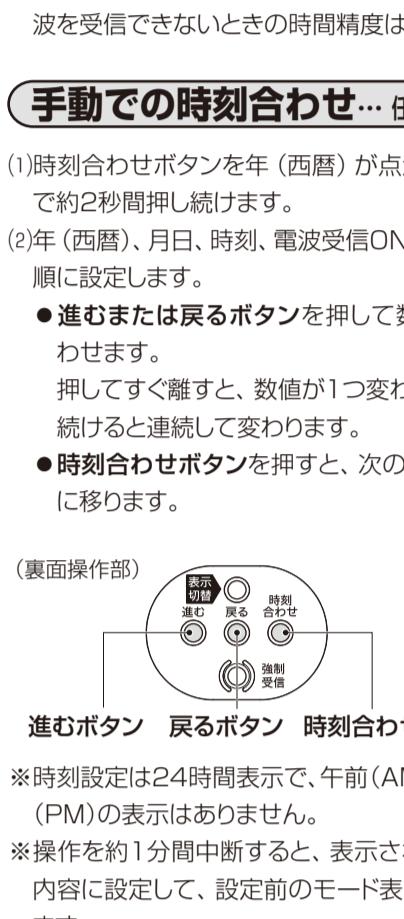
製造
発売元 リズム株式会社〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

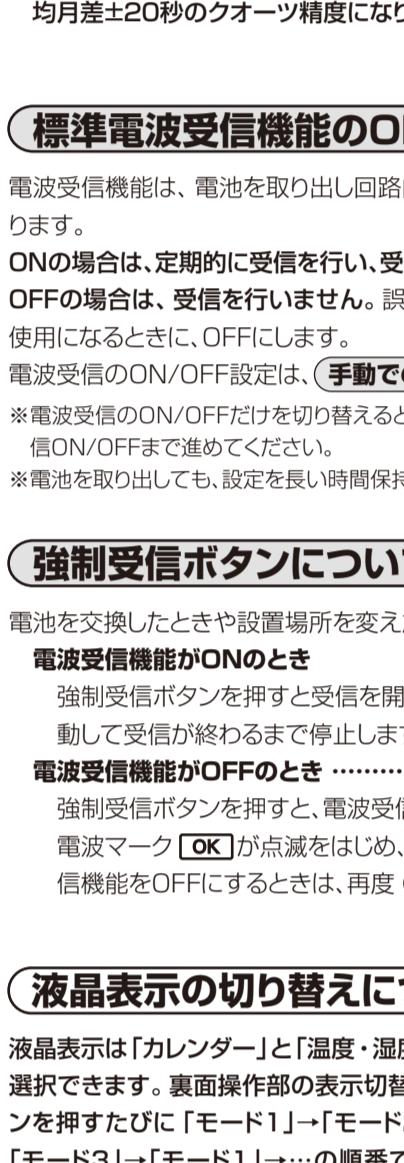
使用方法 電池を入れて、電波を受信して時刻を合わせる

○図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

(正面)

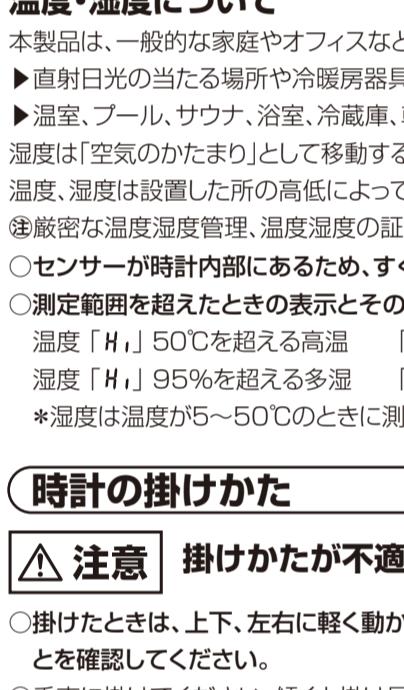


(裏面)



① 単3形アルカリ乾電池(推奨)を2個入れる

(裏面操作部)



○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

○受信に失敗しているときは、表示されている時刻は正しくありません。

液晶表示について

- 時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見えなくなっています。他の方向から見ると、表示が薄くなったり、むらになったりすることがあります。
- 強制受信ボタンを押すと、液晶表示が約3秒間全点灯して受信を開始します。

手動で時刻を合わせる場合は、

(手動での時刻合わせ) を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて電池を入れる△注意 電池の $\oplus\ominus$ を逆に入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

② 強制受信ボタンを押す

針が早送りで12時に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ 時計の掛けかたに従って、時計を確実に掛ける

④ 受信開始から16分後に結果を確認する

最長で16分程度受信を行い、受信が終わると針が早送りで時刻を表示します。

受信に成功しているときは、電波マーク \blacksquare が点灯します。

(標準電波一受信の流れ) を参照。

標準電波一受信の流れ

① 強制受信ボタンを押す

針は、12時に移動して、受信が終わるまで停止します。

※受信が終わるまで、操作ボタンに触れなでください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

電波マークの変化について(電波サーチ機能)

はじめは短い間隔で点滅します。受信する局が、九州局または福島局のいずれかに決まるごとに、1秒間隔の点滅に切り替わります。電波マークは、受信中、電波の状態に応じて1秒間隔の点滅で変化します。

受信できません → 受信しやすい

① または②の状態が続く場合は、設置場所を変えてください。

② 受信結果を確認する

▶ 受信成功

受信に成功すると電波マーク \blacksquare が点滅から点灯表示に切り替わり、針が時刻を表示します。

電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。

▶ 受信失敗 (標準電波を受信できない場合)へ

受信に失敗すると電波マークは消灯します。

表示されている時刻は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい所で、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向こうにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使う

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度はクオーツ精度になります。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1) 時刻合わせボタンを年(西暦)が点滅するまで約2秒間押し続けます。

(2) 年(西暦)、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。

押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

(裏面操作部)

進むボタン 戻るボタン 時刻合わせボタン

※時刻設定は24時間表示で、午前(AM)/午後(PM)の表示はありません。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、設定前のモード表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクオーツ精度になります。

操作例 2023年12月25日 午前10:37に合わせる

① 設定状態にする

時刻合わせボタンを年(西暦)が点滅するまで、約2秒間押し続ける。

② 年(西暦)

進むまたは戻るボタンで「2023」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

③ 月日

進むまたは戻るボタンで「12/25」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

④ 時刻

進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロ秒になります。

※進むまたは戻るボタンを押すと針が停止します。

⑤ 電波受信ON \blacksquare /OFF \blacksquare 選択

進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、設定前のモード表示に切り替わり、針が早送りで、設定した時刻に移動してから、時を刻みはじめます。

標準電波受信機能のON/OFF切り替えについて

電波受信機能は、電池を取り出し回路内に電荷がなくなると、次に電池をセットしたときにONになります。

ONの場合は、定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

OFFの場合は、受信を行いません。誤受信しやすい所で使用する場合や任意の時刻に合わせてご使用になるときに、OFFにします。

電波受信のON/OFF設定は、(手動での時刻合わせ) の操作の中で行います。

※電波受信のON/OFFだけを切り替えるときは、④の項目までは、時刻合わせボタンのみを押して、⑤電波受信ON/OFFまで進めてください。

※電池を取り出しても、設定を長い時間保持しています。

手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

(1) 時刻合わせボタンを年(西暦)が点滅するまで約2秒間押し続けます。

(2) 年(西暦)、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。

押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

(裏面操作部)

進むボタン 戻るボタン 時刻合わせボタン

※時刻設定は24時間表示で、午前(AM)/午後(PM)の表示はありません。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、設定前のモード表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクオーツ精度になります。

※時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

※進むまたは戻るボタンを押すと、針が停止します。

※進むまたは戻るボタンを押すと、針が停止します。